

[戻る](#)

<環境保全に関する取組状況の紹介>

株式会社 近畿分析センター

当社は、1972年2月に関西日本電気(株)の分析部門が分離独立して発足した分析・測定・調査専門会社であり、環境分析、材料分析及びコンサルタント業務を行っております。

従来からの「公害・災害は絶対に出さない」活動に加え、1998年7月にISO14001を認証取得し、「循環型社会」を睨んだ省資源、省エネルギー及び廃棄物削減活動に積極的に取り組んでいます。

1. 環境理念：

「自然のいとなみを尊重した環境マネジメントシステムを展開し、環境にやさしい事業活動と地球環境保全のための信頼される技術とサービスの提供を行います。」を環境理念として掲げ、環境管理活動に取り組んでいます。

2. 環境管理活動：

上記の理念のもとに、当社のビジネスフローを次の様なステップに区分し、各ステップ毎の活動に日夜たゆまざる努力を重ねております。

1) 分析法導入時

環境情報をすばやく入手し、分析法の導入(開発含む)段階での環境・安全の評価手法の効率化とレベルアップを図り、環境への負荷の事前評価をし、有害物使用量や廃棄物発生量の少ない分析手法等の採用を進めています。

2) 分析操作時(サンプリング含む)

環境にやさしい分析センターを目指すため、分析廃液の再資源化・再利用による廃棄物削減、低燃費自動車への切替、設備エージング時間の短縮、有害物質等の物質収支管理の徹底等を進めています。

3) 報告書作成時

お客様のご理解をいただきながら報告書の再生紙使用と両面コピーを図り、紙使用量の削減を進めています。さらに文書管理における電子化を推進してペーパーレス化を進めています。

3. 企業市民としての活動：

琵琶湖一斉清掃、大津市民ヨシ刈り等の地域の環境活動に積極的に参加しています。また自主企画の環境活動として、毎年従業員の半数以上が参加して、盛越川のクリーン化運動等を行っています。

今後もこれらの活動を継続実施していきます。